

いただきます～す



令和7年度11月号

- ・和歌山県ふるさと誕生日
- ・11月24日 和食の日
- ・お米の大変身！！

田辺市立城山台学校給食センター



11月22日は 和歌山県ふるさと誕生日



11月22日は、和歌山県の誕生日です。明治4年(1871年)11月22日、和歌山・田辺・新宮の紀州3県の統合により、現在の和歌山県が誕生しました。県民が郷土について理解と関心を深め、ふるさとを愛する心を育み、自信と誇りを持って、より豊かな郷土を築き上げるために、この日が定められました。

うめの収穫量

29,700t

令和6年度産作物統計(農林水産省)



みかんの収穫量

141,700t

令和6年度産作物統計(農林水産省)

和歌山県
PRキャラクター
さいちゃん

和歌山県には、みかんや梅など全国に誇れるものがたくさんあります！このおたよりを機会に、ふるさと和歌山を見つめ直してみませんか？

ふるさと誕生日こんだて (21日)

幼・保・小献立

高菜ごはん
照り焼きチキン
紀州汁
牛乳



中学校献立

高菜ごはん
和風おろしハンバーグ
紀州汁
牛乳

11月24日 和食の日



11月24日は「いい日本食」の語呂合わせで「和食の日」です。日本には、豊かな自然があり、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。

和食の味の基本は「だし」です。この日は、全国の給食で「だし」を使った献立が予定されています。城山台学校給食センターでも11月25日(火)に、かつおぶしとにぼしと昆布でだしをとった汁物を予定しています。味わって食べて下さいね！

お米の大変身！！

「米」は「和食」を語る上で、日本の食生活に欠かせない食べ物の1つです。日本の気候が、米の栽培にとっても適しているため、約2300年前(弥生時代のころ)から作られて、大切にされてきました。お米がどのような食べ物に変身するのか、考えてみましょう。食品名【ごはん・もち・だんご・酢(す)】を下の図の①～④に書き入れてみましょう。

